

水辺の生物 高校生が解説



自然科学部の生徒（左）から生き物の解説を聞く子どもたち（丹波篠山市で）

丹波篠山 神戸の児童らに

丹波篠山市の県立篠山東雲高校で、神戸市灘区の住民団体「成徳ふれあいのまちづくり協議会」の子どもらを招いた生き物観察会があった。同高自然科学部の

生徒の指導を受け、ビオトープでイモリや水生昆虫を採集した。

同協議会は、丹波篠山市城南地区まちづくり協議会と長年交流を続けており、自然の大切さを学んでもら

おうと観察会を企画している。今年は19日に開き、小学生9人を含む25人が参加した。

小雨の中、子どもらは広さ約400平方メートルのビオトープの散策路を歩き、網を使ってアカハライモリやトノサマガエル、ドジョウなど十数種を採集。自然科学部のさん(17)ら3人が生き物の特徴を解説した。

小学3年の君(9)は「いろんな生き物がいて楽しかった」と目を輝かせていた。

2024年5月24日

読売新聞